

令和4年度から下記の3点について変更となります！

1 名城大学附属高等学校は2学期制になります。

これまで3学期制で学校運営を行ってきましたが、令和4年度から2学期制になります。

これにより、授業時間がより一層確保することができます。また、定期試験毎の間隔が均等になり、履修範囲のアンバランスが解消されます。生徒は一定のリズムを保ちながら、学習や課外活動に取り組むことができるようになります。

2学期制に変更するにあたり、次のような視点を持ちながら検討しました。生徒らが学習や課外活動を効果的にを行い、よりよい成果に結びつける、一方、教職員にとっては働き方を見直し、効率的に教育活動に取り組むことの大きく2つです。

2学期制になると、下記にあげるようなことが変更となります。慣れない点や心配もあるかと思いますが、本書面により概要について説明いたします。

●2学期制とは何ですか。3学期制とは何が変わりますか。

2学期制とは、前期（4月から9月）と後期（10月から3月）の2つの学期で構成されます。始業式と終業式（修了式）が年に4回となります。よって、通知表は2回発行されます。定期テストは学期毎に中間試験と期末試験が行われ、年に4回となります。前期の期末試験が夏休みのあとに行われること、夏休みの前には通知表が発行されないことが、従来とは異なります。また、夏休み・冬休み・春休みは従来通りあります。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
前期						後期						
始業式			終業式			始業式			修了式			
中間試験				夏休み		期末試験		中間試験		冬休み	期末試験	春休み

●2学期制によるメリットは何ですか。

2学期制にすることによって、式典が減ることで準備の時間が削減されますし、定期試験が一回減ることで、試験の出題や成績処理などの業務が減ります。これらにより教師に働き方にゆとりが生まれます。ゆとりが生まれることで、授業の準備を充実させたり、教師と生徒が触れ合う時間が増えたりします。

式典が2回減り、定期試験の回数はこれまでより1回減りますが、その分、授業時数が年間で40時間程度は

増えますから、教科指導が充実し、学習支援が手厚くなることが期待できます。また、定期試験の前に1週間は、部活動などの課外活動には制限がありますが、2学期制になると、約2週間の制限がなくなることで、部活動などの課題活動が充実し、練習試合や大会への参加もしやすくなります。

従来の3学期制ならば、7月に行われていた期末試験は、2学期制になると夏休みが明けた9月に行われます。したがって夏休みの間に、部活動や大会への参加、課外活動に熱心に取り組むと同時に、7月までの学習範囲の見直し、弱点の補強などに取り組み、期末試験に向けて計画的な準備を整えることができます。特に3年生に関しては、前期試験の成績が大学への出願の際に用いられるため、これまでよりも期末試験に対する準備期間が長くなることで、学習の成果が期待されます。

●2学期制によるデメリットは何ですか。

例えば、3学期制ならば、1学期の定期試験が終われば、通知表をもらって夏休みに入るという流れでしたが、2学期制では夏休みの前に通知表は発行されません。長期の休みが学期の節目というリズムで過ごした経験からすると、少し調子が異なります。

定期試験が一回減ることで、試験のために勉強するという動機とその機会は失われるかもしれません。しかし、本来、学ぶということは試験のためではありません。日ごろから計画的に、そして、生涯に渡って学び続ける姿勢を身につけてほしいと願います。

2 校時が変わります。

	開始時刻	終了時刻
始業(ST)	8:45	～
予 鈴	8:55	
1 限	9:00	～ 9:50
2 限	10:00	～ 10:50
3 限	11:00	～ 11:50
4 限	12:00	～ 12:50
昼休み	12:50	～ 13:35
5 限	13:35	～ 14:25
6 限	14:35	～ 15:25
7 限	15:35	～ 16:25

3 普通科のクラスの名称が変わります。

(現在) 特別進学クラス → (変更後) 特進クラス
一般進学クラス → 進学クラス